住みたい 住み続けたいまち 海老名

広報えびな

令和7年11月1日号
No.1312
2025
11/1

海老名市
住みたい 住み続けたいまち

市の重要無形民俗文化財に指定

海老名の祭囃子（ばやし）

問教育総務課☎046(235)4925

市は、ことし9月29日に、「海老名の祭囃子」を市の重要無形民俗文化財に指定し、保持団体として「海老名市はやし保存連絡協議会」を認定しました。おはやしは、近世後期から現在まで活発な活動が継続できており、地域に根付く貴重な文化です。おはやしを伝え継いでいくことは簡単ではありません。「海老名の祭囃子」に耳を傾け、地域の文化存続につないでいきましょう。

おはやしの楽器

大太鼓（長胴・大胴）

先導するリズムの基礎を刻み、曲の重要な箇所にアクセントを付けます。迫力ある音で曲全体を盛り上げます。

小太鼓（締太鼓）

曲全体のリズムキープを担います。繊細なテンポや強弱で、曲調に厚みを加えます。

笛（篠笛）

起点となるメロディーを奏で、曲の感情や情景を表現します。

鉦（摺鉦・当り鉦）

曲の緩急や強弱をリードし、他の楽器の演奏を整えます。

長年の願いだった重要無形民俗文化財の指定を心からうれしく思います。これまで支えてくださった地域の皆さんに感謝するとともに、これからも地域のみんなで守り育てながら、伝統の音を未来につないでいけたらと思います。

海老名市はやし保存連絡協議会会長
大塚真樹さん

重要無形民俗文化財とは

民俗文化財は衣食住・生業（なりわい）・信仰・年中行事などの風俗慣習や、民俗芸能・民俗技術とこれらに用いる衣服・器具・家屋など、人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた生活の移り変わりを表すものです。

有形は衣食住や信仰に用いる道具など形があるもの、無形は年中行事や祭礼など形がないものを指します。特に重要なものは国や都道府県、市町村で「重要有形民俗文化財」「重要無形民俗文化財」に指定し、保存と継承を行っています。

市内のおはやしの歴史

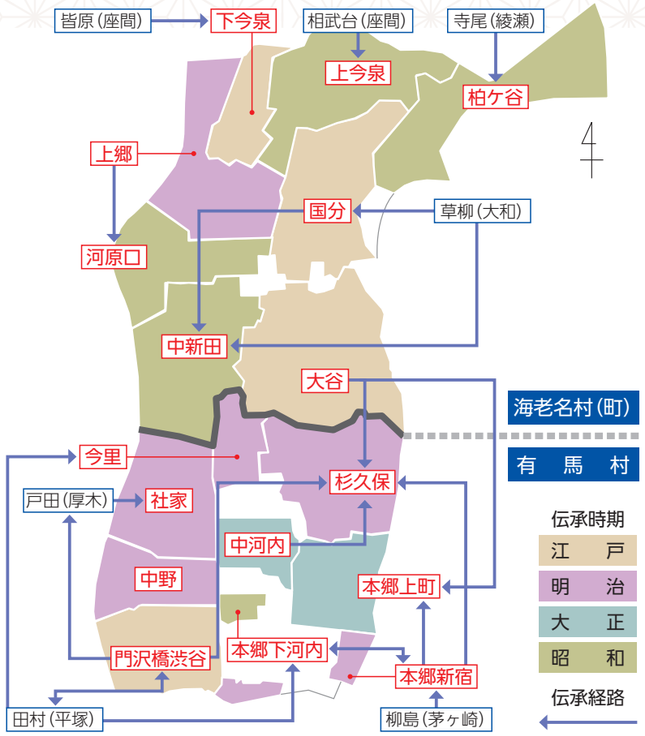
現在、市内には地区ごとに17のはやし連や保存会があり、それぞれ活動しています。

おはやしは近隣の町村から伝承され、市内各地域に根付いていきました（左地図）。

アジア太平洋戦争以前は、各地の青年たちが、地区内外の祭礼で自慢の腕を競い合うほど盛んに演奏されていたものの、戦争が始まったために中断してしまいました。

戦後しばらくして徐々に復活し、多くは昭和50年前後に再開しました。公では、51年に開催した市制施行5周年「えびなふるさとまつり」で披露した、国分地区のおはやしが再開の始まりとされています。

市内のおはやし伝承年代経路図



市内のおはやしの種類

大きく分けて2系統あり、地域によって基本のリズムが異なります。

◆下町囃子系

地域：柏ケ谷・上今泉・国分・下今泉・上郷・河原口・中新田

大谷を除く旧海老名村に伝わる系統。大和・綾瀬・座間方面との関連も深い。団体により呼称は異なりますが、弱奏のリズムを繰り返し、笛などの合図をきっかけに、掛け合いのある強奏部分へ進行します。

◆新囃子系

地域：①大谷・杉久保・本郷下河内・本郷新宿・本郷上町・中野
②中河内・今里・社家・門沢橋渋谷

大谷と旧有馬村に伝わる系統。茅ヶ崎・平塚・厚木方面、特に平塚の田村囃子と関連があり、①②の2系統に分類できます。屋台囃子の「地」と呼ばれる基本リズムが①では「スコトン」の唱歌で始まり、②では「テンテケ」で始まります。

勝瀬地区にも津久井（相模原）からおはやしが伝承されています。

演奏の例

下町囃子系

新囃子系

海老名の祭囃子（はやし）に触れてみよう

市内のおはやし団体は、市の行事や地域の祭りで、鍛錬したバチさばきや笛の音などを披露しています。

「おはやしを始めてみたい」「体験してみたい」と思った人には、近くの団体や活動日を案内しています。詳細は、教育総務課へお問い合わせください。

おはやし演奏の様子を、市公式ユーチューブで配信しています。

市公式YouTube

新春はやし叩（たた）き初め大会
響きや音色の違いが楽しめます。年始の恒例行事です。

えびな市民まつり
元気いっぱいの演奏で祭りを盛り上げます。

練習
地域のコミセンや自治会館、神社社務所などで定期的に練習しています。

「海老名の祭囃子」にかける思い

上郷地区で活動する「上郷はやし連」に、
おはやしの魅力や活動で心がけていることなどを聞きました。

おはやしを好きな子どもが増えたら

山﨑久利沙さん（35歳）

親戚がおはやしをやっていたので、小学校3年生の時に自然とおはやしの道に進みました。

おはやしの魅力は祭りの雰囲気を高めて、聴く人の気分を盛り上げられることや、非日常をみんなで楽しんでいる一体感を感じられることです。観客が楽しんでいる顔を見られるのが一番の喜びです。子どもたちの指導者ではありますが、先生対生徒という関係ではなく、〝笛のおじさん〟としてフランクに接することを心がけています。私と同じように、純粋におはやしを好きな子どもが増えてくれたら指導者冥利（みょうり）に尽きます。古き良き祭囃子の文化をつないでいきたいです。

今年度から上郷はやし連の会長になったので、「海老名の祭囃子」をこれまで以上にもっと盛り上げていきたいと思います。

もっと上手になりたい

吉川桜空さん（15歳）

祭りでおはやしの演奏を聴いて、「かっこいいな」と思いました。息の合う演奏姿に憧れて、中学校1年生の時におはやしを始めました。

上郷はやし連は、最初に小太鼓の練習をします。上達して指導者に認められると大太鼓の練習、その後笛と鉦（かね）の練習ができるようになります。今の私は大太鼓の練習中なので、早く上手になって笛と鉦にも挑戦したいです。

上郷はやし連では、小学生から大人までが一緒に練習しています。声のトーンを明るくして、年下の子にも話しかけやすいと思ってもらえるように工夫しています。

祭りで大太鼓を演奏した時、観客が「上手だったよ」と声をかけてくれたことはとてもうれしかったです。これからも演奏をみんなで揃（そろ）えられるように、練習を頑張りたいです。

第53回海老名市駅伝競走大会 参加者募集

健康えびなマイレージ

「自治会」「一般」「中学生」「女子」「えびなっ子（総合）」「えびなっ子（低学年）」の6部門で開催します。

自治会・一般・中学生・女子

海老名運動公園陸上競技場をスタート・ゴールに6区間計約16キロを走ります。

日 令和8年1月25日(日)9時スタート
対 市内在住・在勤・在学の中学生以上
費 【自治会・一般・女子】1チーム6000円（女子の部は選手全員が中学生の場合3000円）【中学生】1チーム3000円
他 スタートの順番は申し込み順です。チーム編成は、成人の監督1人・選手9人以内（補欠3人含む）。監督は令和8年1月13日(火)18時30分から市役所401会議室で開催する監督者会議に必ず出席してください

えびなっ子（総合・低学年）

海老名運動公園陸上競技場のトラックを1人1周し、5人でたすきをつないで計2キロを走ります。

日 令和8年1月25日(日)10時50分ごろスタート
対 市内在住・在学・市内団体所属の小学生
費 1チーム1000円
他 チーム編成は、成人の監督1人・選手5人。監督は当日受け付け後の説明会に必ず出席してください

共通事項

申 11月14日(金)から、市ホームページで申込用紙を直接文化スポーツ課へも可。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。12月12日(金)締め切り
他 監督の複数チーム兼任は可。監督と選手の兼任は不可。高校生以下は保護者の同意が必要

申し込みページ

問 文化スポーツ課 ☎046(235)4927

スポーツくじ WINNER toto BIG
スポーツ振興くじ助成事業

「第53回海老名市駅伝競走大会」は、スポーツ振興くじ助成を受けて実施します。

「広報えびな」の共通マークとルール

日 日時・日にち　期 期間　時 時間　場 場所
対 対象　定 定員　内 内容　講 講師　費 費用
持 持ち物　他 その他　任 任期　条 条件
主 主催　E Eメール　HP ホームページ
問 問い合わせ　申 申し込み　予 予約制
祝除 祝日・振替休日を除く　休 休み

高齢者対象の教室など　えびな健康マイレージ対象

- **市〇〇〇課への郵送**…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492 海老名市役所〇〇〇課行」で届きます
- **市役所開庁時間**…省略している場合は原則「(月)～(金)8時30分～17時15分」

令和6年度 海老名市の財政状況

問企画財政課 ☎046(235)8453

令和6年度一般会計の決算を中心に、市民の皆さんが納めた税金の使い道をお知らせします。

一般会計決算の概要

歳入は576億642万円（グラフ1）、歳出は556億2928万円（グラフ2）となり、歳入・歳出ともに前年度を下回りました。

歳入は、海老名駅西口・駅間地区の開発の進展、市内企業の業績が堅調であることなどにより、法人市民税・固定資産税の税目が増加しました。一方、新型コロナウイルス感染症に関係する予算が大幅に減少したことにより、国庫支出金は前年度を下回りました。

歳出は、食の創造館別館の建設が完了したことなどにより普通建設事業費が減少しました。プレミアム付商品券発行事業が終了したことにより補助費等も前年度を下回りました。

市民1人当たりの基金・市債の残高は良好です。基金残高は6万4111円と政令市を除く県内16市の中で9番目に多く、市債の残高は特別会計・企業会計分を含めて27万4440円と、政令市を除く県内16市で3番目に少ない金額です。

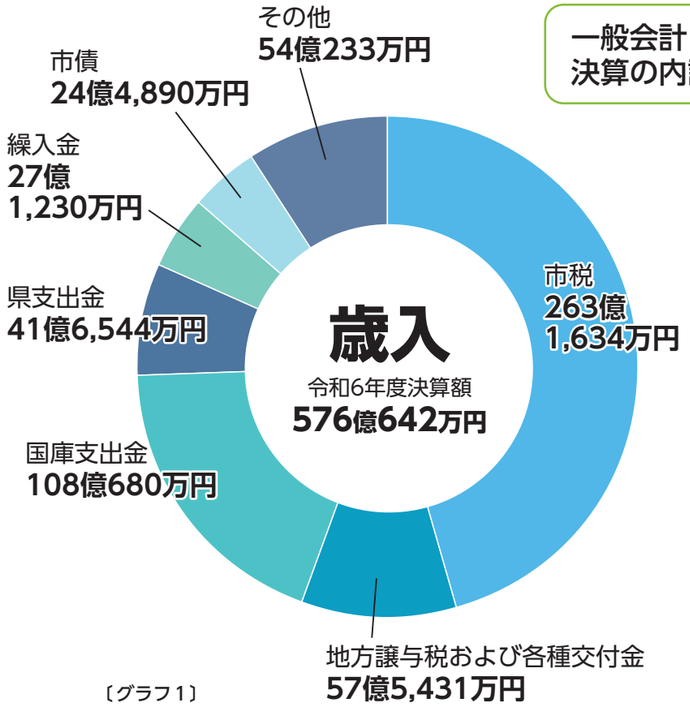
実質収支は、歳入歳出決算額の差額19億7714万円のうち、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた15億2113万円となりました。

決算額

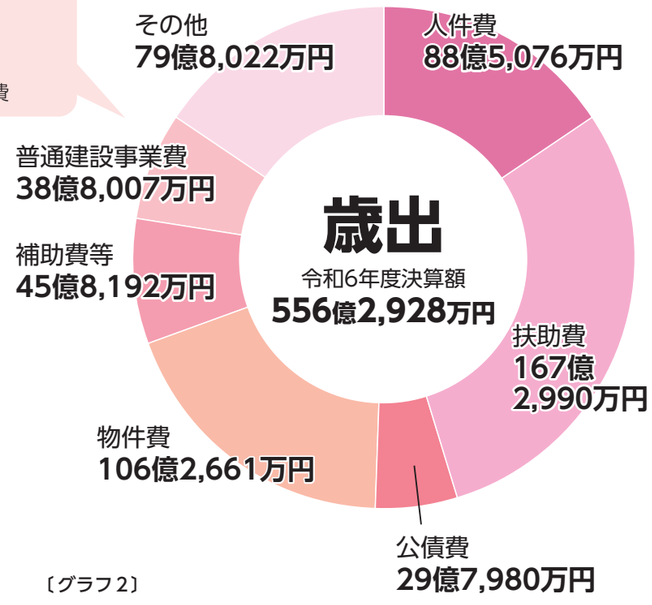
収支の管理は、「一般会計」「特別会計」と「企業会計」に分かれています。「一般会計」は基本的な行政運営の経費を賄うもの、「特別会計」は独自の収入があるもの、「企業会計」は地方公営企業法の適用により企業会計方式で事業を運営するものです。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	576億　641万6,371円	556億2,927万7,052円
特別会計	246億4,136万7,956円	242億4,684万9,026円
国民健康保険事業	120億3,676万5,963円	120億1,851万8,434円
介護保険事業	100億1,811万8,253円	97億4,784万6,925円
後期高齢者医療事業	25億7,536万5,140円	24億6,948万9,067円
公共用地先行取得事業	1,111万8,600円	1,099万4,600円
企業会計	43億5,661万9,648円	48億8,318万　515円
公共下水道事業	43億5,661万9,648円	48億8,318万　515円
合　計	866億　440万3,975円	847億5,930万6,593円

一般会計決算の内訳



〔グラフ1〕



〔グラフ2〕

用語説明 ※歳出決算を性質別で分類した「性質別経費」で示します。

人件費…市長や市職員の給与、議員や会計年度任用職員の報酬など
扶助費…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など
公債費…市の借金である市債の返済に充てる経費
物件費…消耗品、業務委託料など
補助費等…各種団体への補助金など
普通建設事業費…道路などの整備や建物の建設に関する経費

市民1人当たりの歳出決算額（目的別経費）

1人当たり総額 **39万4,642円**

総務費	6万5,795円
民生費	17万4,205円
衛生費	2万9,630円
土木費	2万4,286円
消防費	2万1,995円
教育費	5万　390円
その他	2万8,341円

※住民基本台帳の令和7年3月31日現在の人口14万916人を基に算出

財政状況は「健全」

自治体の財政状況は、財政健全化法に基づき算定され、国が定める基準を超えた場合、財政の健全化に取り組む必要があると判断されます。令和6年度の本市の財政状況は、「健全化判断比率」「資金不足比率」のいずれも国が定める「早期健全化基準」「経営健全化基準」を大きく下回り、問題なしと判断されました。

健全化判断比率

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	**－（赤字なし）**	11.85%
連結実質赤字比率	**－（赤字なし）**	16.85%
実質公債費比率	**5.5%**	25.0%
将来負担比率	**31.7%**	350.0%

資金不足比率

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	**－（資金不足なし）**	20.0%

令和6年度の主な取り組み

令和6年度は、「まちづくり第２ステージへ～新たなる挑戦～」をテーマに、市民・企業・他都市との3つの連携により、経済の好循環の実現と、将来の人口減少を見据えた自律的な循環を次世代につなぐために、戦略的にまちづくりに取り組みました。

市道2671号線（上郷河原口線アンダーパス）開通のほか、高齢者外出支援のためのデマンド型交通「えび～くる」の実証運行や、県内初の小・中学校教材費の無償化など、ハードとソフトの両面から新たなまちづくりを進めました。

充実して暮らせるまち

白石市との姉妹都市提携30周年記念式典の実施
180万円

宮城県白石市との姉妹都市として提携30周年を迎えたことから、記念式典を行い、友好・親善交流の今後のさらなる発展を誓い合いました。

国際化事業の充実
1200万円

市内在住の外国籍市民を対象に「一元的相談窓口」「日本語教育支援」「多文化交流」を柱として、「多言語行政相談員」の配置や「多言語対応タブレット」の設置などの国際化事業を展開しました。

健やかに暮らせるまち

デマンド型交通高齢者外出支援実証運行
7600万円

デマンド型交通高齢者外出支援事業「えび～くる」の実証運行を行い、これまでの公共交通などでは支援が届かない高齢者の外出機会を創出しました。

がん患者等医療用補正具購入費用の助成
220万円

がん治療による外見の変化を補うため、ウィッグや胸部補正具の購入費用を助成しました。

にぎわいがあり自然に優しいまち

イルミネーションのシンボルツリーの設置
300万円

海老名駅東口にイルミネーションのシンボルツリーを設置し、海老名駅周辺のさらなるにぎわいを創出しました。

電気自動車急速充電器の再整備
950万円

電気自動車の普及を促進するため、市役所前に設置している電気自動車の急速充電器を再整備しました。

便利で快適に暮らせるまち

中新田丸田地区土地区画整理事業の推進
780万円

新市街地の形成に向けた取り組みを進めている中新田丸田地区を、令和6年3月末に市街化区域に編入し、組合設立後、造成工事に向けた地盤改良を実施しました。

イメージ

YouBus実証運行「門沢橋ルート」の実施
5600万円

既存の地域公共交通では対応しきれないきめ細やかな移動支援を目指し、下今泉地区で実施しているYouBus実証運行を門沢橋地区でも開始しました。

豊かな学びを育むまち

小・中学校完全給食の提供給食費の一部公費負担
6800万円

令和6年4月から中学校の完全給食を開始しました。物価上昇に伴う保護者の負担軽減を図るため、食材費の一部を公費で負担しました。

学校教材の無償化
1億3800万円

保護者の負担軽減を図るため、教材費の支援対象を県内初となる小・中学校全児童・生徒に拡大しました。

小・中学校屋内運動場空調機の整備
2500万円

児童・生徒に安全・安心な学習環境を提供するとともに、避難所予定施設としての機能強化を図るため、小・中学校の屋内運動場に空調機を整備しました。

安全で安心して暮らせるまち

4市間の消防通信指令業務の共同運用に向けた整備
1300万円

災害情報の一元化による応援体制の充実強化を図るため、海老名市・座間市・綾瀬市の3市で運用している消防指令センターを、大和市を加えた4市での共同運用に向けて整備を進めました。令和8年度に運用開始予定です。

市内コンビニエンスストアへのAED設置
100万円

市内のコンビニエンスストアに24時間365日使用できるAEDを設置し、救命率の向上につながる利用環境の整備を進めました。

かがやきを創造するまち

電子ブック作成・配信ツールの導入
50万円

PDFファイルから電子ブックを作成するサービスを導入し、多言語対応のデジタルブックを配信しました。

新たな発見ができるまち

「#好きです海老名」の投稿写真などでフォトブックを作成
50万円

インスタグラムの「#好きです海老名」の投稿写真や「#好きです海老名写真募集」で応募があった海老名のお気に入りスポットの写真を用いてフォトブックを作成し、市政情報と併せて海老名の魅力を発信しました。

海老名の魅力ベンチの設置
40万円

子どもたちが描いた海老名の魅力をデザインしたベンチを設置しました。訪れた人がSNSなどで発信することをねらい、市の認知度向上につなげました。

※グラフの数字は小数点第2位を四捨五入して算出しています

市政アンケート調査結果

問市民相談課 ☎046(235)4567

市政に対する市民意識を把握し政策に反映するため、市政アンケートを隔年で行っています。

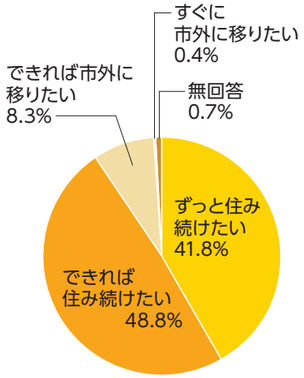
無作為に抽出した市内在住で15歳以上の3000人に調査票を発送し、郵送とインターネットで回答を集めました。回収率は37・5パーセント(1124人)です。調査のご協力をありがとうございました。

主な質問と結果は次のとおりです。調査結果報告書は市民相談課で配布のほか、市ホームページからダウンロードできます。

調査結果報告書掲載ページ

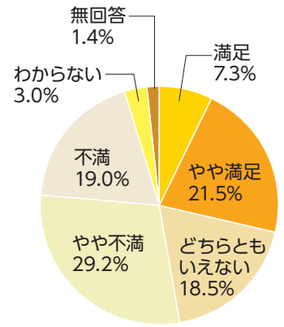
質問 海老名市に住み続けたいと思いますか。

「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計が90・6パーセントと、多くの市民がこれからも定住する意向があることが分かりました。しかし、「ずっと住み続けたい」は前回の調査と比較して19ポイント減少しました。長期的な定住に対する意識がやや後退している様子がうかがえます。



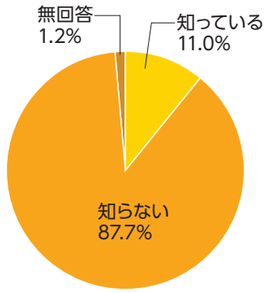
質問 市内の道路整備状況に満足していますか。

「満足」と「やや満足」の合計が28・8パーセントにとどまる一方で、「やや不満」と「不満」の合計が48・2パーセントにのぼり、約半数が道路整備に不満を感じていることが分かりました。



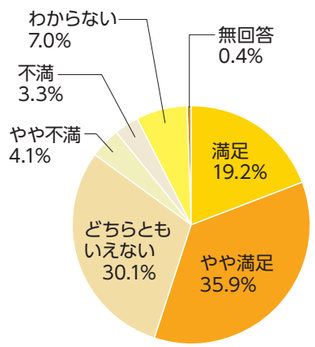
質問 LINE「海老名市」のメニューから道路の異常報告や通報ができることを知っていますか。

「知っている」が11パーセントと、約9割が本機能を知らないことから、通報手段としてのLINEの活用が浸透していないと考えられます。



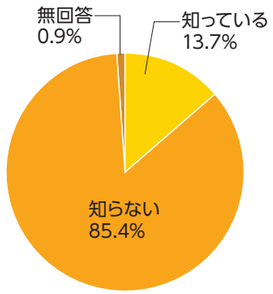
質問 「にぎわい」のあるまちづくりについて満足していますか。

「満足」と「やや満足」の合計が55・1パーセントと、半数以上が満足していることが分かります。「どちらともいえない」は30・1パーセントで、市の取り組みが十分に認識されていない可能性も考えられます。



質問 住宅の防犯対策用品購入に対する市の補助金制度を知っていますか。

「知っている」は13・7パーセントと、約8割以上が制度を認知していないことが分かりました。



「えび～くる」利用対象者を拡大 綾瀬市へ乗り入れ開始

問福祉政策課 ☎046(235)4820

12月1日(月)から、デマンド型交通「えび～くる」実証運行の利用対象者を拡大し、綾瀬市への乗り入れを開始します。なお、ぬくもり号・さくら号の運行は来年5月30日で終了します。

「えび～くる」は道路運送法上の事業認可が必要なため、内容が変更・見送りとなる場合があります。詳細は、市ホームページをご覧ください。

案内ページ

障がい者や妊婦なども乗車可能に

満65歳以上の人に加え、①障がい者手帳または特定医療費(指定難病)受給者証所持者②母子健康手帳の交付を受けている妊婦③未就学児連れの保護者も利用対象です。高齢者・障がい者は付き添いで1人が同乗できます。

綾瀬市での乗降が可能に

市内の乗降ポイントに加え、「綾瀬市役所」「綾瀬厚生病院」「中央公民館」での乗降ができます。

事前に利用登録を

「えび～くる」の利用には事前登録が必要です。郵送または直接福祉政策課へ。LINE「海老名市」からも登録できます。右記①～③の該当者は、11月4日(火)から登録の申し込みを受け付けます。

持【共通】マイナンバーカードなどの本人確認書類

【要介護・要支援認定者、介護予防・生活支援サービス利用者】介護保険被保険者証

【①該当者】障がい者手帳または特定医療費(指定難病)受給者証

【②③該当者】母子健康手帳

11月は高齢者虐待防止推進月間 介護の不安や近所の人の異変は一報を

問【家族などからの虐待】地域包括ケア推進課 ☎046(235)4950
【介護施設職員などからの虐待】介護保険課 ☎046(235)8232

虐待の要因は介護に対する疲れや知識不足などさまざまです。介護に不安がある人や、近所の人の様子に異変を感じた時は、市または最寄りの地域包括支援センター(下表)に連絡してください。連絡した人の情報は守られます。

高齢者虐待とは

家族や施設職員などの介護者が、暴言や暴力を振るうなど、本人の尊厳を冒す行為を指します。行為が意図的・結果的であるかの問題ではありません。

「身体的虐待」「心理的虐待」「ネグレクト(介護放棄など)」「性的虐待」「経済的虐待」の5つに分類されます。

居住地域	相談窓口	電話番号
上郷・下今泉・上今泉・扇町・泉・めぐみ町	海老名北地域包括支援センター	☎046(231)6061
柏ケ谷・東柏ケ谷・望地	海老名東地域包括支援センター	☎046(292)1411
勝瀬・中央・国分南・国分北	海老名中央地域包括支援センター	☎046(234)2973
中新田・さつき町・河原口・社家	さつき町地域包括支援センター	☎046(234)7226
大谷・国分寺台・浜田町・大谷南・大谷北	国分寺台地域包括支援センター	☎046(233)8881
中河内・中野・今里・上河内・本郷・門沢橋・杉久保南・杉久保北	海老名南地域包括支援センター	☎046(238)7691

オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン
「知らせよう あなたが あの子の声になる」

問子育て相談課 ☎046(235)4825

虐待は子どもの心身の成長・発達に大きな影響を与えます。あなたの勇気と行動が児童虐待の早期発見・防止につながります。

児童虐待とは

子どもを守り育てるべき立場の親や養育者が、子どもの心や体を傷つける行為です。「身体的虐待」「心理的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」の4つに分類されています。

子どもへの体罰は法律で禁止

令和2年に児童虐待防止法が一部改正され、子どもへの体罰や心を傷つける行為が法律で禁止されました。たとえしつけのためだとしても、子どもを〝たたく〟〝どなる〟ことは認められません。「自分もそうされて育ってきた」も通用しません。子どもの心や体を傷つけない子育てを目指しましょう。

勇気と一報が必要

出産や子育てに悩んだ時や、虐待を受けたと思われる子どもを見つけた時は、相談窓口(下表)に連絡してください。個人情報や相談内容などの秘密は固く守られます。

かながわ子ども家庭110番相談LINE

相談窓口一覧

名　称	受付時間	電話番号
市こども家庭相談室	(月)～(金)9時～12時、13時～17時	☎046(235)4825
厚木児童相談所	(月)～(金)8時30分～17時15分	☎046(240)6430
児童相談所虐待対応ダイヤル	24時間	☎189(いちはやく)
県子ども家庭110番	9時～20時	☎0466(84)7000
かながわ子ども家庭110番相談LINE	(月)～(土)9時～21時	―
県警子ども安全110番	24時間	☎0120(604)415
海老名警察署		☎046(232)0110

令和8年度市民活動推進補助金
公益的な活動をする市民活動団体に交付

問市民活動推進課 ☎046(235)4794

自主的で公益性のある活動を行う市民活動団体に最大30万円の補助金を交付します。詳細は、手引きまたは市ホームページ、個別相談で確認してください。

案内ページ

手引き・申請書類配布

11月4日(火)から、市民活動推進課・えびな市民活動センター ビナレッジ・コミセンなどの公共施設で配布するほか、市ホームページからダウンロード可。

個別相談

申請書類の書き方などの相談に応じます。予約制です。初めて申請する団体は12月22日(月)までに個別相談の予約をしてください。

期12月1日(月)～令和8年1月9日(金)(土)(日)(祝)、12月29日(月)～令和8年1月3日(土)除く)
時9時～17時
場市民活動推進課
申11月21日(金)から、電話で市民活動推進課へ

申請方法

12月22日(月)から、市ホームページで。郵送・メールまたは直接市民活動推進課へも可。令和8年1月13日(火)締め切り(必着)

海老名ゆめクラブ連合会映画鑑賞会
「くじけないで」を上映

問地域包括ケア推進課 ☎046(235)4951

90歳を過ぎてから詩作を始め、出版した詩集が200万部のベストセラーとなった詩人・柴田トヨ氏の半生を描いた映画を上映します。

日11月26日(水)13時30分～15時40分ごろ
場文化会館大ホール
対市内在住の65歳以上の方
定先着1000人
費無料
申ゆめクラブ会員は直接各クラブ会長へ。一般の人は11月4日(火)から、電話または直接市役所西棟の海老名ゆめクラブ連合会事務局(☎046・235・0220)へ
他駐車場の利用は有料です

©2013「くじけないで」製作委員会

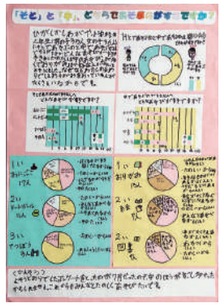
統計グラフコンクール募集結果

問IT推進課 ☎046(235)4698

統計知識の普及と表現技術向上のため、市内在住・在学の小・中学生を対象に募集し、50点の応募がありました。市長賞・教育長賞・特別賞・県統計グラフコンクール入賞は次のとおりです。

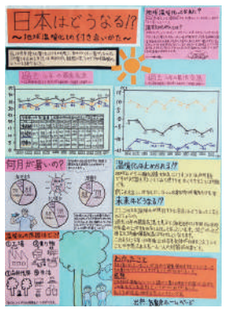
市長賞

小学校1・2年生の部
佐藤杏音さん(東柏ケ谷小2年)「『そと』と『中』、どちらであそぶのがすきですか？」

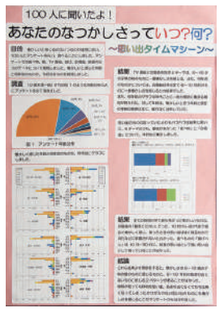


小学校3・4年生の部
池田羽汰さん(有鹿小3年)「僕たちのもしもの時の食べ物防災食」

小学校5・6年生の部
中島優大さん(上星小6年)「日本はどうなる!? ～地球温暖化との付き合いかた～」



パソコンの部
茂木水葉さん(柏ケ谷中2年)「100人に聞いたよ！ あなたのなつかしさっていつ？何？ ～思い出タイムマシーン～」



教育長賞

小学校1・2年生の部
渡邊咲央莉さん(今泉小2年)
小学校3・4年生の部
西田昌弘さん(杉本小3年)
小学校5・6年生の部
江下 竣さん・柳川 陽さん・長竹創哉さん・長島昂太朗さん(柏ケ谷小6年)
パソコンの部
大倉一将さん(社家小6年)

特別賞

中学生の部
山田理紗さん(今泉中3年)

県統計グラフコンクール入賞

小学校3・4年生の部
池田羽汰さん(有鹿小3年)

作品展

全応募作品を展示します。
期11月7日(月)～25日(火)((土)(日)(振)除く。初日は12時から、最終日は15時まで)場市役所エントランスホール

考えよう！ ふるさと納税

問商工課 ☎046(235)8539

ふるさと納税とは

「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として国が創設した寄附（きふ）の制度です。寄附者が申告すると、寄附金額の2000円を超える部分について、所得税と住民税（市・県民税）から原則全額が控除されます。

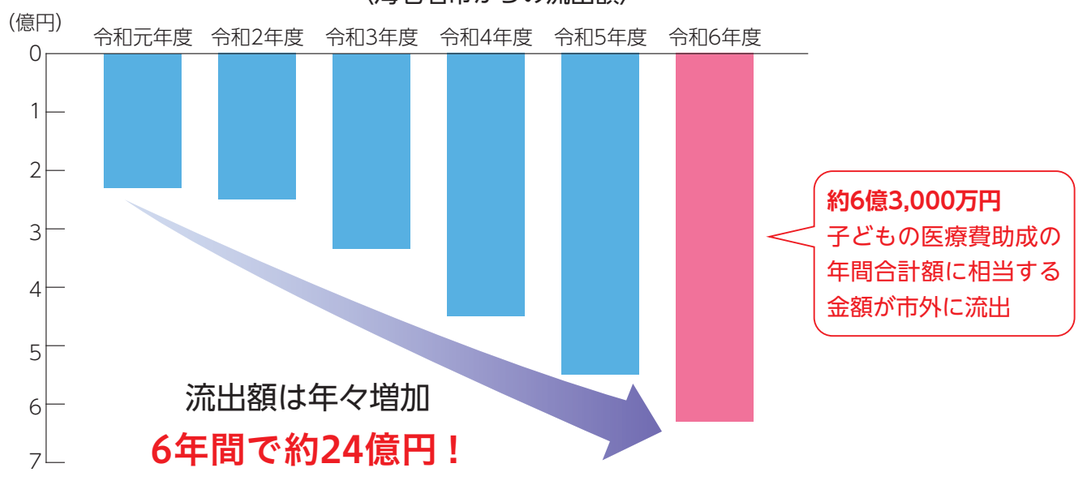
「税金の使われ方を考えるきっかけになる」「生まれ故郷やお世話になった地域、これから応援したい地域の力になれる」「地域のあり方を考えるきっかけになる」など、個人の意思を反映できる制度ですが、実態は「自己負担2000円で返礼品を受け取ることができ、税金が控除されるお得な制度」という認識が広まり、返礼品を目的に寄附先が選ばれているのが現状です。より多くの寄附を集めるため、自治体間での返礼品競争が過熱し、応援したい自治体を選んで寄附をするという本来の趣旨が損なわれつつあります。

海老名市から市民税が流出

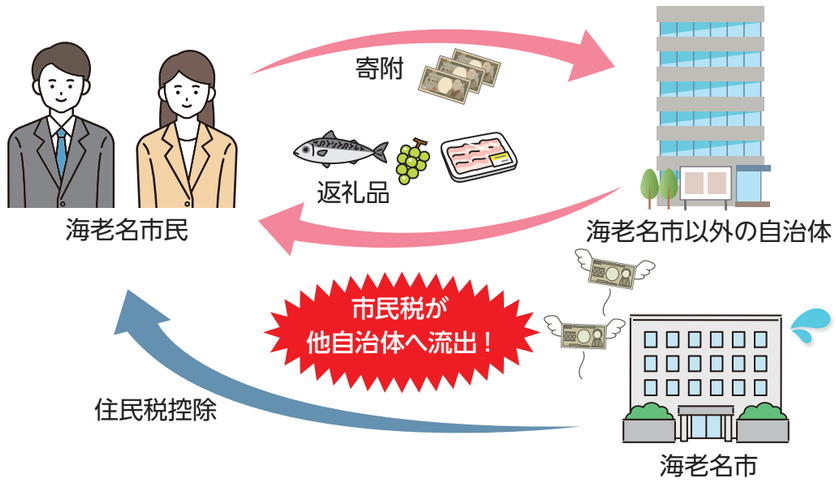
海老名市民が他の自治体にふるさと納税をした場合、本来海老名市に納めるはずの住民税が控除されるため、市税収入が減少します。制度の普及により、ふるさと納税をする人が増え、海老名市からの流出額は年々増加しています（下表）。令和6年度は約6億3000万円が流出し、令和元年度からの6年間で累計約24億円が流出しました。

多くの自治体では、流出額の75パーセントが地方交付税として国から補填（ほてん）されます。しかし、地方交付税の不交付団体である海老名市に国からの補填はなく、流出額がそのまま減収となります。このまま流出額が増えると、市のさまざまな施策に影響を及ぼす恐れがあります。

〈海老名市からの流出額〉



〈ふるさと納税の仕組み〉



趣旨を理解して判断を

ふるさと納税を検討している人は、制度の趣旨や課題を踏まえて判断をお願いします。

市民も海老名市に寄附が可能

海老名市民が海老名市にふるさと納税をしても、寄附金控除を受けることができます。ただし国の制度上、返礼品を受け取ることはできません。

申し込み時に「寄附金の使い道」を指定できるため、税金の使用用途を自身で決めることができます。所得や控除の状況に応じて控除額の上限があるため注意してください。

返礼品なしのふるさと納税申し込み方法

【インターネット】

各ポータルサイトで。支払い方法は各サイトで選択してください。

- ふるなび
- ふるさとチョイス
- auPAYふるさと納税
- ANAのふるさと納税

【窓口】

直接商工課へ。申し込み後、納付書で寄附金を支払います。

寄附金控除の受け方

控除を受けるためには、原則寄附の翌年に確定申告が必要です。詳細は、国税庁ホームページをご覧ください。給与所得者など一定の条件を満たす人は、確定申告が不要になる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」を利用できます。

寄附金の活用方法

市への寄附金は「応援まごころ基金」に充てられ、寄附時に指定された使い道で活用しています。活用例を紹介します。

子どもの育成と教育の充実に関する事業

未来を担う子どもたちの成長と学びを応援します。

市内小・中学生の教材費支援

保健や福祉分野の推進のための事業

みんなが健康で、互いに支え合うまちを目指します。

プレパパ・ママ教室を開催

自然環境を保全・創造するための事業

豊かで美しい自然と共生できるまちづくりを進めます。

資源とごみの分け方・出し方の周知

募　集

会計年度任用職員 課税資料整理業務員（一般事務）

問 市民税課 ☎046（235）8594

主に給与支払報告書や確定申告書などの課税資料の整理を行います。詳細は市民税課へ。

【任用期間】令和8年1月9日㈮～3月31日㈫
【勤務日】㈪～㈮の週５日（㈷除く）
【勤務時間】9時～17時（休憩1時間）
【報酬】時間額1,312円
申 11月4日㈫から、履歴書を郵送または直接市民税課へ。21日㈮締め切り（必着）

海老名市景観審議会の市民委員

問 都市計画課 ☎046（235）9391

まちの良好な景観づくりの調査や審議を行います。任期は２年間です。
任 令和8年1月21日㈬～10年1月20日㈭ 対 市内在住の18歳以上（令和8年1月1日時点）で条件を満たす方 定 2人 申 11月4日㈫から、応募用紙と800字以内の小論文（テーマ「海老名市における景観づくりの課題と対策」）を郵送または直接都市計画課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。21日㈮締め切り（必着） 他 報酬は日額1万円

外部評価委員会の市民委員

問 企画財政課 ☎046（235）4634

市の施策や事業などを評価します。任期は2年間です 任 令和8年2月1日㈰～10年1月31日㈪ 対 1年以上住民登録がある市内在住の18歳以上（11月1日時点）で、条件を満たす方 定 若干名 申 応募用紙を郵送または直接企画財政課へ。用紙は同課で配布のほか、市ホームページからダウンロード可。11月28日㈮締め切り（必着） 他 報酬は日額1万4,000円

今号の「えびなタイムマシン」はお休みします。

エコドライブにご協力を

問 環境政策課 ☎046（235）4912

荷物の積み降ろし、待ち時間の長い踏切や信号などで駐停車する時は、「アイドリングストップ」を心がけましょう。緩やかに発進する「ふんわりアクセル」や、早めの「アクセルオフ」は燃費の改善に効果的です。エコドライブに協力をお願いします。

11月9日～15日 秋季全国火災予防運動

問 予防課 ☎046（231）0968

火災はわずかな不注意から発生します。「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」をスローガンに、期間中、市内事業所などへの立ち入り検査や消防車両での巡回広報活動を行います。

令和７年度第3回Ｊアラート 全国一斉情報伝達試験を実施

問 危機管理課 ☎046（235）4501

11月12日㈬11時ごろ、防災行政無線や防災ラジオからＪアラートの伝達試験放送が流れます。災害と間違えないように注意してください。サイレンは流れません。

事業所の給与担当者を対象に 年末調整関連資料を配布

問 市民税課 ☎046（235）8594

11月13日㈭から、市民税課前の配布コーナーに年末調整関連資料を配架します。詳細は大和税務署（☎046・262・9411）へ。

海老名市イメージキャラクター えび～にゃ市公式LINEスタンプ ほっこりオータム編

紅葉や「えびな市民まつり」など、秋をイメージしたイラストがメインです。スタンプ40種類で1セットです。
費 120円（LINE STORE購入）／50コイン（LINE内通貨）

スタンプ販売ページ

お知らせ

勝瀬文化センター長期休館

問 地域づくり課 ☎046（235）4793

11月17日㈪から令和9年3月31日㈬まで、勝瀬保育園の園舎建て替え工事に伴い同園へ貸し出すため、勝瀬文化センターを休館します。休館中は避難所としても利用できません。勝瀬保育園に関することは保育・幼稚園課（☎046・235・4824）へ、避難所に関することは危機管理課（☎046・235・4790）へ問い合わせ、または市防災ホームページをご覧ください。

事情がある子どもをサポート 里親制度

問 子育て相談課 ☎046（235）4825

家族と暮らせない事情がある子どもたちを家庭に迎え入れ、成長をサポートする「里親」には、「養育里親」「養子縁組里親」などがあります。里親の活動は長期間だけでなく、夏休みや週末の受け入れなどさまざまです。詳細は、厚木児童相談所（☎046・240・6430）または里親センターひこばえ（☎046・205・6092）へ。

樹木・枝木・落葉の適正管理を

問 道路管理課 ☎046（235）9381

民有地の樹木の剪定（せんてい）や伐採を定期的に行い、枝木や葉が道路に散乱している場合は除去してください。樹木から落ちた枝木や葉が、側溝などに堆積すると排水処理が滞ることがあり、歩道や車道に樹木が張り出していると、交通に支障をきたす場合があります。

冬の室温は20℃が目安 ウォームビズにご協力を

問 環境政策課 ☎046（235）4912

国は冬の暖房使用時の室温を20℃に推奨する「ウォームビズ」を呼びかけています。暖房時のエネルギー使用量を抑えることはCO_2の削減や電気代の節約になります。環境にも家計にも負担が少ない快適なライフスタイルを目指しましょう。

えびな元気お裾分けクラブ 登録説明会

問 地域包括ケア推進課 ☎046（235）4950

市内の高齢者施設などでボランティア活動をします。ポイントをためて市や姉妹都市などの特産品と交換できます。
日 11月10日㈪14時～16時 場 杉久保コミセン 対 市内在住の65歳以上の方 定 先着10人 費 無料 申 11月4日㈫から、電話で海老名市社会福祉協議会（☎046・232・1600）へ

フレイルチェック「楽しく自分で健康チェック」

問 地域包括ケア推進課 ☎046（235）4950

〝フレイル〟とは加齢により心身の機能が低下した状態のことです。東京大学監修の「フレイルチェック」を通じて、運動や栄養・口腔（こうくう）など、自身の健康状態を確認しましょう。
日 12月4日㈭10時～12時15分 場 国分寺台文化センター 対 市内在住の65歳以上の方 定 20人 内 握力・筋肉量測定、片足立ち上がりなど 費 無料 申 電話で地域包括ケア推進課へ。11月28日㈮締め切り

まるごと！介護予防教室〈全10回〉

問 地域包括ケア推進課 ☎046（235）4950

生活機能の低下を予防する方法を自身で続けられるように、運動や食事、口の健康などを学びます。
日 令和8年1月8日～3月12日の毎週㈭ 時 10時～11時40分 場 総合福祉会館 対 市内在住の65歳以上で要支援1・2の方、地域包括支援センターでのチェックリストと面接による条件を満たした方 定 15人 費 無料 申 電話で地域包括ケア推進課へ。11月14日㈮締め切り 他 初めての方優先。応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です。送迎は要相談

びなウェル健康教室レクチャークラス「頻尿のあれこれ」

問 びなウェル ☎046（204）4560

前立腺肥大・尿漏れ・過活動膀胱など排尿の悩み解消法を泌尿器科専門医から学びます 日 12月20日㈯14時～15時 場 ビナガーデンズパーチ（めぐみ町3-1） 対 市内在住の18歳以上の方 定 20人 講 大草 洋氏（海老名おおくさ泌尿器科クリニック院長）・小倉悠司氏（海老名スマイルクリニック院長） 費 無料 申 11月5日㈬から、二次元コードで。㈪㈬㈮は13時～20時、㈯㈰㈷は10時～20時に、電話または直接びなウェルへも可。19日㈬締め切り 他 応募多数の場合は抽選

申し込みページ

びなウェル健康教室エクササイズクラス「現役サッカー選手から教わる、からだづくりトレーニング教室」

問 びなウェル ☎046（204）4560

日常で必要な動きを、サッカーから学びます 日 12月27日㈯10時～11時 場 えびな市民活動センタービナレッジ 対 市内在住の18歳以上の方（5歳以上のお子さんも保護者同伴で参加可） 定 30人 講 武藤英暉氏・水上珠吏氏（厚木はやぶさFC） 費 無料 申 11月5日㈬から、二次元コードで。㈪㈬㈮は13時～20時、㈯㈰㈷は10時～20時に、電話または直接びなウェルへも可。19日㈬締め切り 他 応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です

申し込みページ

1人暮らし高齢者宅の安全点検・地震対策援助

問 地域包括ケア推進課 ☎046（235）4950

市職員と消防職員などが訪問し、火の元の点検や家具転倒防止の安定板の設置をします。1世帯2個までです。
日 11月下旬～12月中旬 対 市内在住の70歳以上で1人暮らしの方 定 50人 費 無料 申 11月4日㈫から、電話で地域包括ケア推進課へ。18日㈫締め切り 他 初めての方優先。応募多数の場合は抽選

文化財ガイド「国登録有形文化財嶋﨑家住宅見学会」

問 教育総務課 ☎046（235）4925

令和3年10月14日に国登録有形文化財となった嶋﨑家住宅を見学します。集合から解散まで各回約50分です。
日 11月29日㈯（小雨決行・荒天中止） 時 9時から・9時30分から・10時から・10時30分から・11時から 場 海老名駅西口中心広場（集合）→嶋﨑家住宅（上郷1丁目）（解散） 対 小学生以上 定 各回先着10人 費 無料 主 市教育委員会・NPO法人海老名ガイド協会 申 11月4日㈫から、電話または直接教育総務課へ 他 小・中学生は保護者同伴

第5回海老名市民講座まなBINA（ビナ） 小・中学生のための科学講座「たくさんのタネと遊んで、タネの不思議を体験して、キミもタネ博士だ！」

問 学び支援課 ☎046（235）8411

実験・体験・図鑑づくりなどの活動を通して、種について学びます。
日 内 11月29日㈯「自然の中では、だれがタネをまくのでしょう？」、12月6日㈯「ほんもののタネで図鑑をつくろう！」、12月13日㈯「生活の中のタネを、見て、さわって、再発見！」 時 9時30分～11時30分 場 今泉中学校物理室 対 市内在住・在学の小学校4年生～中学校1年生 定 各回先着20人 講 野田啓司氏（元中学校教諭） 費 無料 申 11月4日㈫から、電話で学び支援課へ 他 小学生は保護者の送迎が必要。保護者見学可

えびな会食育講座「おもてなし料理をつくろう」

問 健康推進課 ☎046（235）7880

大勢で食べるイベント向きの料理を作ります。参加は１日のみ。
日 12月9日㈫・19日㈮ 時 9時45分～12時 場 えびな市民活動センタービナレッジ 対 市内在住・在勤の方 定 各回17人 費 300円（食材費） 申 11月5日㈬から、電話または直接健康推進課へ。12月2日㈫締め切り 他 応募多数の場合は抽選。駐車場の利用は有料です

フルインクルーシブ教育「市民との対話の場」

問 教育支援課 ☎046(234)8764

市が目指すフルインクルーシブ教育について考えます。詳細は、市ホームページをご覧ください。

◆対面開催

参加者同士で対話できます。

日12月6日(土)10時～12時場市役所会議室定先着100人費無料申市ホームページで。電話で教育支援課へも可

◆オンライン開催

インターネット上の仮想空間〝メタバース〟での対話や、動画の視聴などができます。期間中いつでも参加できます。

期11月28日(金)まで費無料

屋外用イルミネーションライトリユースにご協力を

問 高座クリーンセンター環境プラザ ☎046(238)3172

不要になった屋外用イルミネーションライトを募集します。ライトは12月に開催する屋上庭園イルミネーションで使用します。詳細は、高座クリーンセンター環境プラザホームページをご覧ください。

申電話で高座クリーンセンター環境プラザへ。12月5日(金)締め切り

ハート＆ピースフェスタ

問 市民相談課 ☎046(235)4568

夫婦漫才コンビ「中山まさとも・つかさ」が夢を叶(かな)えるまでの体験談などを話します。「中学生人権作文・ポスターコンテスト」「〝平和なまち〟絵画コンテスト」の表彰式と人権作文朗読も行います。

日12月7日(日)13時30分～15時50分場文化会館小ホール定先着300人費無料申11月4日(火)から、市ホームページで。電話または直接市民相談課へも可他手話通訳・要約筆記あり。2歳～未就学児の託児の申し込みは11月21日(金)締め切り。駐車場の利用は有料です

外出支援担い手養成講座〈全2回〉

問 福祉政策課 ☎046(235)4820

高齢者などの外出支援に必要な知識や介助・運転スキルなどを、講義と実習で学びます。修了者には認定講習修了証を交付します日12月12日(金)・14日(日)時10時～16時30分場市役所会議室対市内在住で全2回参加できる方定先着36人講認定NPO法人かながわ福祉移動ネットサービスネットワーク役員など費無料申11月4日(火)から、電話で福祉政策課へ

募　集

普通救命講習〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕・子育て世代向け 救命入門コース

問 警防課 ☎046(231)0932

◆普通救命講習〔Ⅰ〕

成人に対する心肺蘇生とAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びます。

◆普通救命講習〔Ⅱ〕

普通救命講習〔Ⅰ〕のほか、筆記試験・実技試験があります。

◆子育て世代向け 救命入門コース

乳児・小児の心肺蘇生とAED使用体験のほか、年齢別で起こりやすい事故事例や予防ポイントなどを話します。

日〔Ⅰ〕12月14日(日)9時～12時〔Ⅱ〕12月18日(木)9時～13時〔救命入門コース〕12月6日(土)10時～11時30分場〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕消防署本署〔救命入門コース〕えびなこどもセンター対〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕市内在住・在勤・在学の中学生以上の方〔救命入門コース〕市内在住の未就学児の保護者・妊婦とパートナー定〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕先着20人〔救命入門コース〕先着15組費無料申11月4日(火)9時から、市ホームページで他救命入門コースはお子さん同伴可

分別・水切り・減量化 私にできる小さな一歩⑰

海老名のごみ事情ミニ

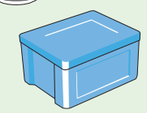
ごみの分別へのご協力ありがとうございます。ごみの減量化を進めていくためには正しい分別が大切です。問い合わせの多い分別方法を、毎月1日号で紹介します。

問環境政策課 ☎046(235)4923

サイト「ごみサク」

発泡スチロール

Q どのような形でも「容器包装プラスチック」として排出できるの？



A できます。食品の容器や商品を守る緩衝材など、形は違っても発泡スチロール製であれば「容器包装プラスチック」です。

排出時のポイント

発泡スチロールは軽く、かけらが飛び散りやすいため、必ず袋に入れて排出してください。

大きな物は長い辺が50㎝以下になるように切ってにゃ～

ひきこもり当事者のための居場所

問 生活支援課 ☎046(235)9015

何かをしても、しなくてもよい場所です。あなたの居場所を見つけてください。時間内の入退出は自由。直接会場へ。詳細は、市ホームページをご覧ください。

日11月7日(金)13時～16時場総合福祉会館費無料他駐車場の利用は有料です

女性に対する暴力をなくす運動パネル展

問 市民相談課 ☎046(235)4568

11月12日～25日は、女性に対する暴力をなくす運動期間です。DV・性犯罪・ストーカー・売買春・セクハラなど、暴力は決して許されない行為です。暴力の予防と根絶に向けてパネルで啓発します。

期11月17日(月)～25日(火)(土)(日)(振)除く。初日は12時から)場市役所エントランスホール

令和7年度わかばまつり

問 障がい福祉課 ☎046(235)4813

日替わりでコンサートやマジック・けん玉などのパフォーマンスをします。ゲームコーナーや障がい者団体などの製品・飲食物の販売、県立えびな支援学校などの作品展示もあります。直接会場へ。

期11月17日(月)～21日(金)時13時～16時場わかば会館費無料(一部販売は有料)

催　し

防火ポスター展

問 予防課 ☎046(231)0968

「令和７年度防火ポスターコンクール」の応募作品を展示します。直接会場へ。

期11月8日(土)～20日(木)(13日(木)除く)場えびな市民活動センタービナレッジ他氏名の公表に同意した方の作品を展示します。駐車場の利用は有料です

都市計画説明会

問 都市計画課 ☎046(235)9391

高座清掃施設組合清掃処理場の都市計画変更(区域の一部縮小)について説明します。直接会場へ日11月9日(日)10時30分～11時30分場高座クリーンセンター環境プラザ大会議室

(公財)かながわ考古学財団門沢橋出土品整理室見学会

問 教育総務課 ☎046(235)4925

遺跡から発掘した土器を洗って修復し、整理するまでの工程の解説もします。直接会場へ。

日11月28日(金)時【見学】9時30分～11時30分・13時～14時30分【解説】各回30分程度①９時45分から②10時30分から③13時20分から場(公財)かながわ考古学財団門沢橋出土品整理室(門沢橋685-1)費無料主市教育委員会・(公財)かながわ考古学財団

TNR講習会

問 環境政策課 ☎046(235)4912

飼い主がいない猫を捕獲し、不妊または去勢手術を受けさせて元の場所へ戻すTNR活動の留意点、補助制度などを学びます。詳細は、市ホームページをご覧ください。

日11月14日(金)14時～15時30分場市役所会議室対TNRを実施予定の市内在住の18歳以上の方・市内事業者など定先着30人講寺島美和子氏(海老名のら猫を増やさない会)費無料申11月4日(火)から、LINE「海老名市」または電話で環境政策課へ他TNR活動に係る手術費用補助を受けるには、講習会の受講が必要です。3年ごとの更新制です

かながわハートフルフェスタ2025 in あつぎ

問 県共生推進本部室☎045(210)3637

トークショーや相模国飯山白龍太鼓保存会の太鼓演奏、人権作文コンテスト表彰式などを行います。直接会場へ。

日12月6日(土)13時～16時場厚木市文化会館小ホール(厚木市恩名1-9-20)講土屋恵三郎氏(星槎国際高校湘南野球部監督・(公財)世界こども財団理事長)他手話通訳・要約筆記あり。2歳～未就学児の託児の申し込みは電話で県共生推進本部室へ。先着順で受け付け

広報えびな 点字版・音声版

問障がい福祉課 ☎046(235)4813

視覚障がいがある方に送ります。

市では、自主財源確保のため広告を掲載しています。掲載のお問い合わせは、㈱横浜メディアアド(☎045・450・1802)へ。

歌舞伎のいろは―入門―

問文化スポーツ課 ☎046(235)4797

歌舞伎演目の上演をします。初めての人も楽しめる解説や立ち回り体験もあります。チケット購入の詳細は、文化会館(☎046・232・3231)へお問い合わせください。

日令和8年2月14日㈯14時～16時ごろ
場文化会館大ホール
定先着1,000人
内演目「五条橋」「藤娘」「『三人吉三巴白浪(さんにんきちさともえのしらなみ)』より『大川端の場』」、各演目解説、立ち回り体験
費大人2,000円・高校生以下無料
申右表のとおり
他全席指定。駐車場の利用は有料です

	販売方法など	販売時間
文化会館	申11月7日㈮10時から、同館ホームページ「オンラインチケットサービス」で。14時からは電話で、8日㈯からは直接同館へも可他「オンラインチケットサービス」は会員登録(無料)が必要。別途手数料あり	オンラインチケットサービス 24時間(3時～4時除く) 窓口・電話 10時～17時30分(休館日除く)
チケットサイト	申11月7日㈮10時から、「チケットぴあ」「ローソンチケット」「イープラス」で他会員登録(無料)が必要。別途手数料あり	24時間

世帯数と人口
〈令和7年10月1日現在〉

世帯数 63,927世帯 (63,043世帯)
人口 141,451人 (141,276人)
男 70,931人 (70,904人)
女 70,520人 (70,372人)

※( )内は前年同月(令和6年10月)の値

数値は、令和7年国勢調査確定人口が総務省から公表された後にさかのぼって変更されます。

今月の納税・納付
〈納期限12月1日㈪〉

- 国民健康保険税[6期]
- 市営住宅使用料[11月]
- 保育所保育料[11月]
- 介護保険料[6期]
- 後期高齢者医療保険料[5期]
- 小・中学校給食費[7期]

納付は口座振替が便利です。

今号の題字 えびな

なの字が難しくて何回も練習しました。
今泉小学校 小平夏碧(こだいらなつみ)さん(11歳)

編集雑記

おはやしには、西洋音楽の譜面では表現できない「間」があって、同じ曲でもその時の演奏者によってリズムが異なるそうです。私は吹奏楽部で打楽器の担当でしたが、譜面どおり叩(たた)いていた私にとっては、世界が広がった感覚でした。そんな日本独自の文化がこの先もずっと残るといいなと思います。(芹)

発行：海老名市 〒243-0492 海老名市勝瀬175-1 ☎046(231)2111㈹ FAX046(233)9118 https://www.city.ebina.kanagawa.jp 編集：市長室シティプロモーション課 ☎046(235)4574